

紀南病院スローガン 令和6年4月 プライバシー 声は響くよ 気を付けて 人と人に笑顔咲く
5月 挨拶ひとつで印象よくなる
6月 寄りそう心がいちばんの薬
7月 あいさつは「心をこめて自分から」明るい笑顔をトッピング



山崎運動公園（熊野市） 職員撮影

■病院理念

優しく、温かい、確かな医療を提供し、紀南の環境文化に根ざした地域連携の充実に努めます

■基本方針

1. サービス精神(KINAN)の徹底

——(K)気持ちをこめて、(I)いつまでも、(N)納得のいく、(A)安心で安全な、(N)任務の遂行

2. 患者さんの権利を尊重し、わかりやすい説明を励行
3. 生活の質の向上(QOL:quality of life)を中心とした診療と援助
4. 行政や医師会と協同した地域医療の向上（救急医療・高齢者医療・健診・地域連携・福祉など）
5. 職員研修の強化と遠隔地医療教育の必須化
6. 職場環境の改善と健全な病院経営に基づく医療環境の提供

紀南病院組合議会3月定例会を開催

令和6年3月27日（水）、紀南病院組合議会3月定例会が開催されました。議案は5議案で、令和5年度の紀南病院組合病院事業会計補正予算（第3号）や、令和6年度紀南病院組合構成市町負担金の承認、令和6年度紀南病院組合病院事業会計予算の承認等が提案され、原案どおり可決されました。

令和6年度の当初予算につきましては、4億4,810万4千円の赤字予算となりました。

また、一般質問が下記のとおり行われました。

一般質問 榎本 健治 議員（紀宝町） 紀南病院経営について



災害拠点病院活動

能登半島地震派遣報告

紀南病院 DMAT 業務調整員 津呂橋 優

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、災害拠点病院である紀南病院も災害派遣を行いました。災害派遣医療チームである DMAT 隊は、三重県庁内に設置された三重 DMAT 調整本部や石川県金沢市において活動しました。DMAT 調整本部では、現地で活動中の三重 DMAT 隊の後方支援や今後出動する隊の調整を行い、金沢市では、石川県立中央病院や小松市民病院に設置された本部で、搬送調整に関する業務を主に担当しました。隊としての災害派遣は今回が初でしたが、昨年度に金沢市で訓練した経験があり、比較的落ち着いて活動できました。今回の地震はアクセス制限により

支援チームの大量投入が困難で、活動が長期化しました。

南海トラフ地震発生時、紀南地域は孤立することが想定されますので今回の経験を訓練等に反映し実災害に備えたいと考えています。



石川県立中央病院内に設置された DMAT 活動拠点本部でのミーティング



石川県立中央病院に参集した各県の DMAT 車両

災害支援ナース石川派遣活動について

紀南病院災害支援ナース 湊 麻衣

私は 1/18(木) ~ 1/21(日) まで石川県金沢市のいしかわ県総合スポーツセンターの避難所で、災害支援ナースとして活動しました。災害支援ナースとは、被災した看護職の負担を軽減し支えるよう努めるもの、また被災者が健康レベルを維持できるように被災地で適切な医療・看護を提供する役割を担う看護職のことで、

1.5次避難所として開設されたスポーツセンターは、ホテル・旅館などの2次避難所への中継地点として開設されており、被災地からの受け入れを行っていました。対象は高齢者、障がいのある方等で、8割以上が高齢者となっており、250名前後が入所していました。入所者は、広いアリーナ内をトイレや食事を取りに行くまでの距離が遠いことからかなり体力を消耗してしまい、転倒のリスクも高かったです。また高齢で基礎疾患がある上に生活環境の変化による心身の疲労、免疫力の低下等から急変される方も何



ラウンド中

名かいらっしゃいました。

私達の活動内容は、避難所での看護活動が円滑に行われる為の業務整備、急変時の対応、嘔吐処理、要観察者またはテント全体のラウンド、内服管理、診察介助等でした。避難所は病院ではなく、生活の場所だったので、入所者さんの自立を見守りながら、医療・看護として必要なことのみ介入し、声かけや検温のタイミングにも充分配慮するよう心掛けました。また、この期間は例年感染症が増える時期ですが、テントで仕切られている事や手洗いの徹底等から、爆発的に増えることはありませんでした。全体として支援ナースのチームワークが良く、しっかり情報共有しながらより良い方法を考え、入所者に対して適切な看護介入をしていけたのではないかと思います。現地スタッフの方からは、「皆さんのお陰でかなり楽になりました。」との声を聞くこともできました。



リーダーに報告

活動を終えて、災害時にはリーダーとしての役割がチーム活動に大きく影響すること、この地域も災害時は応援が来るまで何とかしのぐ力を身に付ける必要があること、受援の準備が必要であることを学びました。この学びを自身の災害活動に活かし、仲間達と協力しながら院内の災害対策について進めていきたいです。



アリーナ内の様子

*当紀南病院からは上記2名のほかに、田島祐（DMAT医師）、松平克己（DMAT看護師、災害支援ナース）、木村みどり（DMAT看護師）、池田里香（DMAT看護師）、田垣内秀典（DMAT業務調整員）が派遣されました。



着任医師紹介 (4月1日付常勤医師)

①好きな有名人

②抱負



内科
ひら やま たか ひろ
平山 貴寛 医師

②内視鏡治療を中心に、地域の皆さまに信頼されるような医療を、心がけていきます。



内科
かわ くち のぶ ゆき
川口 敦之 医師

①サザンオールスターズ
②4月から内科医として勤務することとなりました。地域に貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願ひいたします。



内科
おお べ ふう ま
大部 楓馬 医師

①久保建英 (サッカー選手)
②地域の皆様のお役に立てるように精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

あいくる活動報告

*あいくるとは……紀南病院地域連携室内に置かれた、「紀南地域在宅医療介護連携支援センターあいくる」のことで、地域の医療・介護・福祉関係者の連携を支援しています。



内科
やま くち たく ま
山口 拓真 医師

①大谷翔平
②紀南の人、地域を知りたいです。



外科
かわ きた こう へい
川北 航平 医師

①石原さとみ
②津市出身で以前は松阪、伊勢で勤務しておりました。地域住民のみなさまのお力になるべく全力を尽くしますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

～第10回みとりいな『一人じゃない!チームでみとりいな ~ザ・ファイナル~』開催～

3月19日(火) 18:30~20:30紀南病院講義室で第10回『一人じゃない!チームでみとりいな ~ザ・ファイナル~』を開催しました。今回は講師・出演者を設けず参加者全員でのディスカッションとし、第1回からの振り返り、この間の在宅看取りの変化や、看取りに対する想い、悩み、苦労話を語り合いました。43名(スタッフ除く)の参加でした。足掛け3年にわたり、テーマを「看取り」に限定した『一人じゃない!チームでみとりいな』は今回で終了となりました。



あいくるメイト(医療・介護・福祉関係者の多職種交流会)開催



あいくるメイト

1月31日(水)19:00~20:00

医療・介護・福祉関係者の皆さまが、普段現場で感じていることなど、ざっくばらんに話し合う、カフェ形式の交流会『あいくるメイト』を熊野市保健福祉センターで開催しました。

【みとりいな参加者アンケートより】※一部抜粋

- ・看取り一つで、地域がまとまっているように感じられました。(医師)
- ・私の施設でも看取りが増えてきています。みとりいな研修は楽しく大変勉強になりました。(看護師)
- ・あたたかい横のつながりに感謝します。(看護師)
- ・ふり返りの話がたくさん聞けてよかったです。今後も頑張っていこうと思えた。(ケアマネジャー)
- ・みとりいなは、業務に追われる日々の中で、一旦立ち止まって頭を整理する時間や疲れて冷たくなった心を温めて、また頑張ろうと思わせてくれる時間でした!今後もそれぞれの取り組みを教えてください、悩みを吐き出せる研修会を期待しています。(ケアマネジャー)
- ・熱く重厚な議論、大変感服しました。地域の医療・介護関係者の連携の強さ、底力を感じました。ありがとうございました。(事務職)

出前講座実績

- 1月25日(木) 17:30~18:30
『いわゆる内股に対するストレッチ』
対象:生活介護事業所ここ
講師:紀南病院リハビリテーション科統括技師長 松本 公博
- 1月31日(水) 18:30~19:00
『冬の感染症について』
対象:熊野社協訪問介護員(ホームヘルパー)
講師:紀南病院感染対策室看護師長 根本 保正
- 3月6日(水) 10:00~11:00
『災害時における心構えと災害に備えた体づくり』
対象:B型通所サービス「あそこってどこよ」
講師:紀南病院 DMAT業務調整員 津呂橋 優(理学療法士)



1月25日



1月31日



3月6日

なご 和みの会(がん患者と家族の会)お花見会

紀南病院看護師 田中 由美子



3月30日(土)、少し桜も咲き始めようとする中、山崎運動公園(熊野市)で11名が参加し、お花見会を開催しました。昼過ぎには暖かい気候のせいか桜が開花して、皆で公園を1周しました。

和みの会は今年で15年目を迎えます。今までに病棟看護師、化学療法室看護師、ケースワーカー、外科医師の方々、管理栄養士、理学療法士、地域の診療所医師・看護師、太地のアマチュアバンド等の方々に参加していただけたことに心から感謝申し上げます。発足を振り返ると、2009年私が外科病棟で働いていた当時、がんの手術前後、抗がん剤治療、終末期等の患者さん同士が、大部屋で仲良くなることで気持ちが楽になっていく姿を目にし、がん患者や家族同士の心の触れ合いの必要性を感じました。ちょうどその頃、患者さんからの「患者会がこの近くであればいいのに」という言葉が後押しし、お互いの橋渡しを看護師ならできると思い、当院に来ていただいていた三重大学地域医療講座の医師に講演会を開催していただき、その際にごん患者会を呼びかけた結果14名の参加希望がありました。その他病棟で関わった患者60名に患者会の是非についてアンケート調査した結果、参加希望が21名ありました。活動としては、院内の職員の方からがきや切手等を集めて、会費に充てたことや、三重県のがん研究費助成金の申請をしたり、がんフォーラムに参加したこともありました。当初は紀南病院看護師が主体で運営してきた会ですが、現在主体は患者さんに移っており、病院はサポートを続けております。地元でかかりつけ医がいらない方もいて、いざという時に心細い状況の方や、相談先も思うように見つけられないという方もおられます。今後、地域での受け皿が増えることを期待しております。和みの会は、がんの種類に関係なく、がん患者やその家族・友人・知人、会に興味のある方が集まってお互いの時間を共有しております。今後ともよろしくお願ひします。





紀南病院外来診療担当表

令和6年4月1日現在
紀南病院 TEL 05979-2-1333

診療科		月	火	水	木	金
内科 (予約制) (*紹介状要)	初診	平山貴寛 (第1・3・5週) 鈴木寛人 (第2・4週)	阪口亮平 (第1・3・5週) 大部楓馬 (第2・4週)	浜口 幸大	川口 敦之	池田昂平 (第1・3・5週) 山口拓真 (第2・4週)
	再診	平山貴寛 (第1・3・5週) 鈴木寛人 (第2・4週)	阪口亮平 (第1・3・5週) 大部楓馬 (第1・3・5週)	浜口 幸大	川口 敦之	池田昂平 (第1・3・5週) 山口拓真 (第2・4週)
				濱口 政也(午前)		
		小林 文人	小林 文人(午後)	小林 文人	小林 文人	
専門外来	血液内科外来 (第1・3週) (午後) 専門医	呼吸器病外来(月1回) 畑地	循環器内科・腎臓内科 (第4週) (午後) 小藪 助成	消化器外来 原田 哲朗	糖尿病外来 杉岡直弥(月3回) 住田安弘(月1回)	
	リウマチ・膠原病外来 高見 勇一郎	(第4週のみ) リウマチ・膠原病外来 高見 勇一郎	リウマチ・膠原病外来 高見 勇一郎	血液内科・感染症内科 (第2週) (午後) 鈴木 圭	肝臓病外来(月1回) 杉本 龍亮	
外科 (*受付11時迄)	1診		加藤 弘幸	加藤 弘幸	川北 航平	加藤 弘幸
	2診	川北 航平	説田 守仁			説田 守仁
		乳腺専門外来(第1週・予約制) 小川 朋子	乳腺専門外来(第3週・予約制) 河口 浩介		肝胆脾外来(第3週・予約制) 水野 修吾	
整形外科 (*受付11時迄)	1診	細井 敬	休診	細井 敬	細井 敬	三重大学医師
	2診	加藤 祥		加藤 祥	加藤 祥	
脳神経外科 (*受付11時迄)	1診	仲尾 貢二	仲尾 貢二		(第1・2・4・5週) 辻 正範	仲尾 貢二
	2診		漢方・リハビリ外来 (午前・予約制)		(第3週) 川北 文博	
*眼科 (*受付11時迄)	1診	植地 南月	久保 朗子	久保 朗子	植地南月 (第1・3・4・5週) 久保朗子 (第2週)	植地南月 (第1・3・5週) 久保朗子 (第2・4週)
	2診	間瀬 陽子	植地 南月	松井 千瑛	松井千瑛 (第1・3・4・5週) 植地南月 (第2週)	松井 千瑛
小児科 (*受付11時迄)	1診	須藤 直樹	須藤 直樹	須藤 直樹	須藤 直樹	須藤 直樹
		小児発達外来 (第1・3週) (予約制) 成田 正明				
皮膚科(*予約制)	1診		午後 飯田 祥平			午後 市川 彩夏
脳神経内科 (予約制) (*紹介状要)	1診				松浦慶太(隔月)	(交代制) 成田 有吾 谷口 彰
泌尿器科 (*受付11時迄)	1診	栗本 勝弘 (予約再診)	栗本 勝弘	栗本 勝弘	栗本勝弘 (予約再診) 午後 杉村芳樹 (交代制) 有馬公伸 (交代制)	栗本 勝弘
耳鼻咽喉科(*受付11時迄)	1診				松浦 徹(午前)	
歯科口腔外科(*受付11時迄)	1診	堀 晃二	堀 晃二	堀 晃二	堀 晃二	堀 晃二
健診センター	ドック健診	須崎 真	小林 文人	須崎 真	小林 文人	高見 麻子
婦人科 (*予約制)	1診				第2・第4週午後(交代制) 非常勤医師	
備考	<p>* 受付時間は午前7時30分～午前11時00分までです。 なお、当院を初めて受診される患者様及び診察券をお持ちでない患者様の受付時間は、午前8時からとなります。 * 内科は完全予約制の為、予約が必要です。紹介状があれば電話予約が可能です。健康診断で異常を指摘された場合も、結果票が紹介状の代わりになる為、予約可能です。地域連携室までお電話下さい。 * 脳神経内科は紹介予約制の為、予約が必要です。 紹介状があれば電話予約が可能です。地域連携室までお電話下さい。 * 眼科は、小児(中学生まで)の検査は午後の為、予約が必要となります。午後2時以降に眼科外来までお電話下さい。 ・コンタクトレンズの取り扱いはしておりません。 * 皮膚科は完全予約制のため、予約が必要です。地域連携室までお電話下さい。 * 婦人科は完全予約制のため、予約が必要です。地域連携室までお電話下さい。 * 泌尿器科初診の場合、かかりつけ医がある場合は紹介状が必要です。 紹介状があれば電話予約が可能です。地域連携室までお電話下さい。</p>					

インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症に伴う 面会制限について

入院中の患者さんを守るため、面会については下記の条件を満たす場合とさせていただきますので、ご協力お願い申し上げます。

①面会の条件

- ・事前に面会の申し込みを行っている場合 (週1回まで)
- ・入院生活を継続するうえで、病院が必要と判断した場合
- ・病院から来院要請をした場合 (病状説明・緊急呼出・手術や検査の付き添い等)
- ・入院日・退院日

②面会者の条件

- ・近親者やキーパーソン (意思決定に関わる方) に限ります。
- ・※子供(18歳未満)の面会はお断りしております。
- ・面会までの10日間以内に発熱や体調不良がない (面会当日も含む)

③面会者方法

- ・受付で体温測定を受け、面会希望用紙を提出し、面会証をもらってください。
- ・面会時間は13時から20時までの15分以内とさせていただきます。
- ・面会時は手指消毒を行い、面会者・患者共にマスクの着用をしてください。
- ・※患者の状態により、マスクの着用が困難な場合を除く
- ・面会は原則1名とします。付き添いが必要な場合等は、事前にご連絡ください。

着替えや洗濯物等の荷物の受け渡し場所

平日昼間 13:00 ~ 17:15 総合受付 (外来棟2階)
 平日夜間 17:15 ~ 20:00 時間外受付
 休日 13:00 ~ 20:00 時間外受付



診療科や病棟の特徴、個々の患者の状態や背景があるため、患者により対応が異なる場合がございます。また、地域や院内の感染症発生状況に伴い対応が変更される場合があります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

4月8日時点の対応で、発生状況によって変更されます。